



【事務局長】より

暑さにより、水稻は平年より6日程度早く稲刈りの適期を迎え、梨などの果樹も水不足が影響し、例年よりもやや小ぶりのサイズとなっている産地もあるようです。あまりの暑さに集中力も途切れがちですが、外出時にはくれぐれも自動車事故に注意してください。注意一秒、ケガ一生涯です。



【ヘルパーステーションえがお】より

ここ最近の朝と晩は、少し暑さが和らいでいるように感じます。とはいえ、日中はまだまだ暑く、体力も消耗しています。これが9月中旬まで続くと言われていまして、健康管理には気を付けて、この夏を乗り切っていきたいと思います。



【ケアセンターえがお】より

今月の訪問では、利用者や家族から、市の実態調査について、「書いて出しました」「どうしたらいいですか？」等の相談がありました。第9期に向けて可能な限り協力して欲しい事をお伝えしています。調査の中に、【介護サービス事業所の職員は、介護者が困っていること、不安、求めていることなどの話をよく聞いてくれますか？】という問いがありました。日頃、相談業務を行っていますが、話を十分に聞きくことができるように時間に余裕をもっていかなくてはいけないと思いました。9月の勉強会では事例検討会を行いました。新たな気づきを整理していくことや、ケアマネの立ち位置や役割を知ること



が大切だと思いました。

【訪問看護ステーションえがお】より

8月より新しい看護師が仲間入りしました。西井智子さんです。西井さんより一言「**地域で暮らす利用者さんが笑顔になるお手伝い**が出来るようよう頑張りますのでよろしく願いいたします。」病院での勤務経験は充分ですが、現在、同行訪問をしながら在宅看護について学び中です。今後ともよろしく願いいたします。

8月に入り点滴依頼の訪問が増えました。

9月に入っても残暑厳しいそうです。

まだまだ、暑い日が続きます。エアコンの効いた部屋で過ごしていても、水分が十分に摂取できなければ、熱中症になります。体調管理して乗り切りましょう。



【小規模多機能ホームなんごうえがお】 近況報告

先日、平成31年からご利用いただいていた99歳の方がお亡くなりになりました。昨年末から誤嚥性肺炎を繰り返す状態で、先月から嚥下が困難になりながらも毎日‘なんごうえがお’へ通われていました。ご家族からは「ぎりぎりまで家で過ごせて食事も出来て大往生でした」という言葉を聞けました。今回、最期を迎えるにあたり訪問看護も利用していたので助言をもらい、一緒にご家族へ現在の状態説明とどのように最期を迎えるか？と話しあう場を持ち情報共有しておくことが出来ました。‘なんごうえがお’として初めてのお看とりだったので、最期を迎えるにあたり、どのようにご家族や往診医へ話を進めておかなければならないのか？を知る機会になりました。今後にかしたいと思います。